説明書No.SS-45DC 0601

Suiden

オゾン破壊係数
ゼロ の 新冷媒
R407C採用

スポットエアコン

クールスイファン ミニドレン
SS-45DC-3 (3相200V)

取扱説明書

もくじ

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド<Suiden スイデン>製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。
ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

注記 塩酸や硫酸など、著しく金属を腐食させるガス・蒸気が存在する場所に設置しないでください。
＊ガス漏れや、性能劣化の恐れがあります。

日本国内交流電源仕様

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の2つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		
	⚠	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図は感電注意）
	⦸	⦸記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。（左図は分解禁止）
	●	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図はアースを接地する）

●製品仕様への注意事項

⚠ 注　意	
⦸ 決められた製品仕様以外で使用しない。 ＊漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。	⦸ 船舶・車両などの空調用としては使用しない。 ＊水漏れ・漏電の原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注　意	
❗ 搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下・破損などによりケガの原因になります。	❗ 人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警　告	
⦸ 濡れた手で、差込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガの恐れがあります。	❗ 定格20A以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。
● アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	⦸ 水・油などをかけない。 ＊火災・感電・漏電の原因になります。

⚠ 警　告

灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。	アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・化学物質などの爆発性粉じん、ガス・蒸気などの近くや雰囲気内で使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。
電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 ＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。	

⚠ 注　意

冷風を長時間、体にあてない。 ＊健康を害する恐れがあります。 冷風ダクトの首振り装置を使うなど、冷風を集中して直接体にあてないようにしてください。	運転可能条件範囲内で使用する。 ＊感電・火災・故障の原因になります。 25℃.50%～45℃.40%の雰囲気内でご使用ください。
動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に必ず点検修理を依頼する。 ＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。	振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。 ＊転倒などによりケガや事故の原因になります。 振動のない水平な場所で使用してください。
３相交流２００Ｖ以外で使用しない。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。	切削油などの鉱物油の立ち込める場所で使用しない。 ＊樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。
導電体（カーボン・鉄・鋳物・アルミなど）の粉じん発生場所で使用しない。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。	屋外や、屋内の水のかかる場所で使用しない。 ＊絶縁劣化による感電・漏電・火災・故障の原因になります。
排気口に手や指を入れない。 ＊ケガの恐れがあります。	運転時は、キャスターのストッパーをONにして固定する。 ＊予期しないときに動くと、ケガや事故の原因になります。
電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	延長コードを使用するときは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。
電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。 必ず伸ばした状態で使用してください。	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。
火気に近づけない。 ＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。	浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。

⚠ 注　意

浮遊粉じんの多いところや、油分の多いところに設置するときは、設置場所の雰囲気に対応したフィルターを使用する。
＊標準仕様で使用すると、トラブルの原因になる場合があります。
お買い上げの販売店・当社営業マンにご相談ください。

●保守・点検の際の注意事項

⚠ 注　意

修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。
＊発火したり異常動作をすることがあります。
ただし、この取扱説明書に記載のお手入れについては、一般の方が行っても差し支えありません。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
＊感電やケガをする恐れがあります。

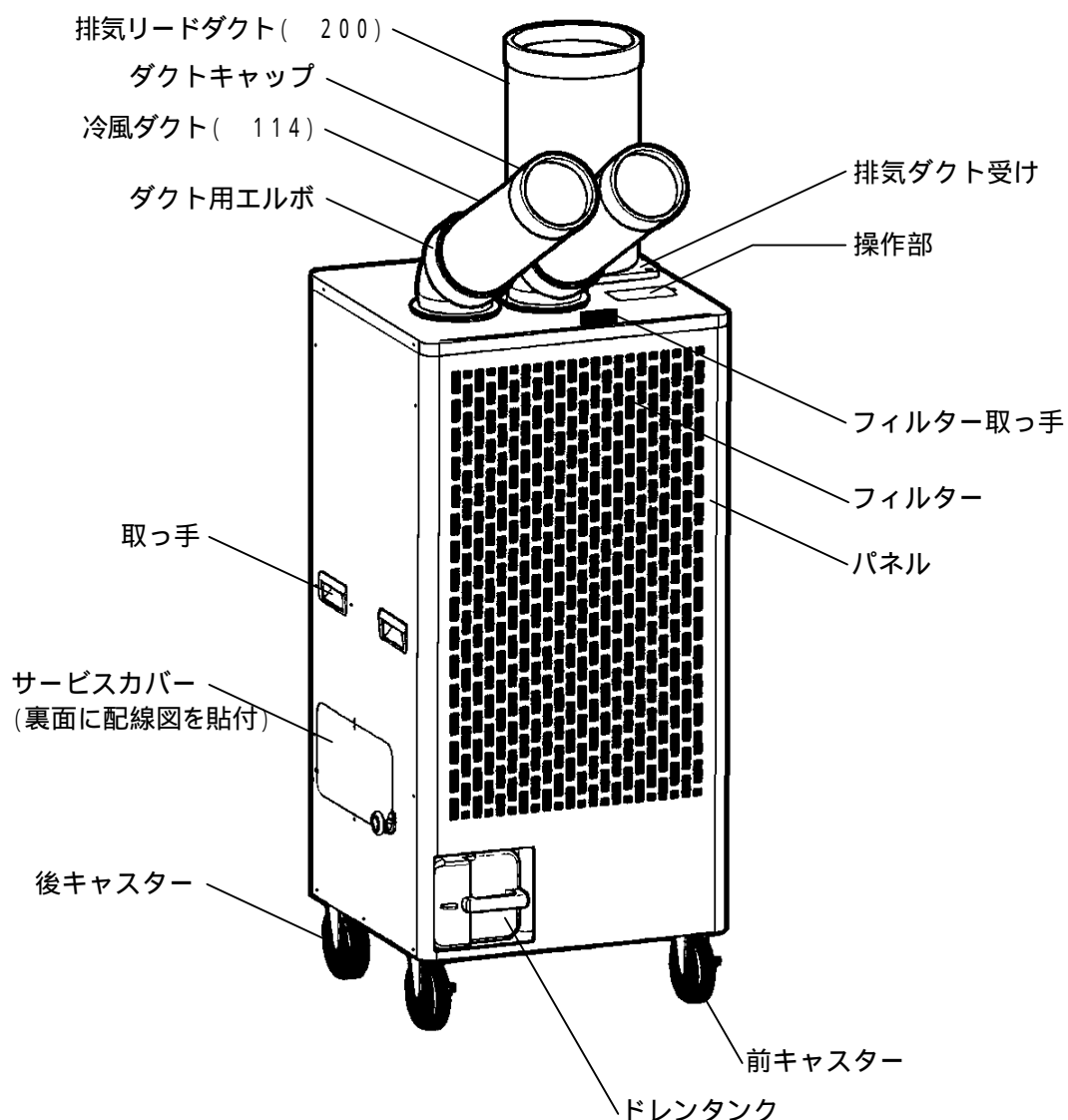
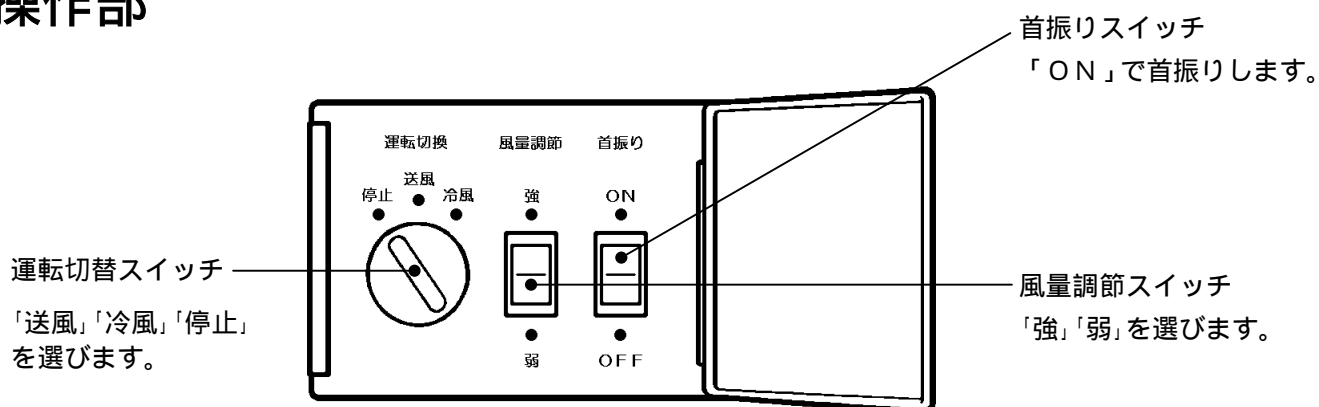
保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
＊感電やケガをすることがあります。

2 仕様

品番			ＳＳ－45ＤＣ－３
電源			3相２００Ｖ．５０／６０Hz
冷房能力			４.０／４.５kW
圧縮機			全密閉型ロータリー．出力１.１kW
送風機	冷風側	風量	１２／１３　m³/min（強）．　１０／１０　m³/min（弱）
		出力	１３５W
	排熱側	風量	１９／２１　m³/min
		出力	２７０W
消費電力			１８００／２２００　W
始動電流			２６／２４　A
運転電流			６.７／７.０　A
力率			７８／９１　％
冷媒			ＨＦＣ－４０７Ｃ（Ｒ４０７Ｃ）
冷媒封入量			６４０g
製品質量			７１kg
外形寸法			幅５２０×奥行き４７０×高さ１１２０mm（冷風ダクト、排気リードダクト含まず）
運転可能条件			２５℃（５０％）～４５℃（４０％）
備考			冷房能力、消費電力、運転電流は、周囲温度３５℃．相対湿度６０％で運転したときの値です。

3　各部の名称と付属品

外観図

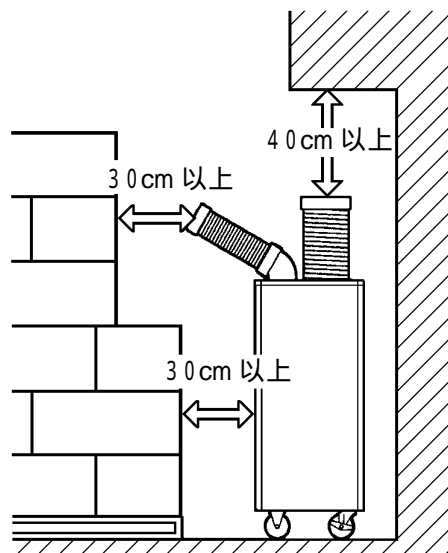
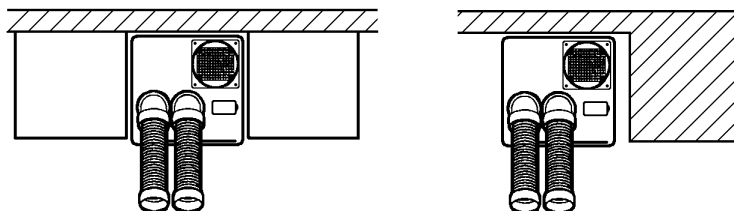
排気リードダクト（φ200）
ダクトキャップ
冷風ダクト（φ114）
ダクト用エルボ
排気ダクト受け
操作部
フィルター取っ手
フィルター
パネル
取っ手
サービスカバー
（裏面に配線図を貼付）
後キャスター
前キャスター
ドレンタンク

操作部

4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. 本体の設置

注記 **塩酸、硫酸など著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所に設置しないでください。**
＊ガス漏れ、性能低下の恐れがあります。

フィルター部前面および冷風ダクト、排気リードダクトの吐出し方向に障害物のない場所に設置してください。

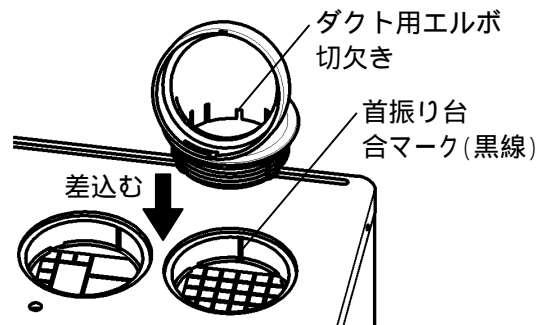
油煙が多く発生する場所では、油の種類によっては樹脂部品が割れたり、変質する場合があります。
このような場所では、雰囲気外にスポットエアコンを設置してください。

2. 冷風ダクトの取付け

（1）ダクト用エルボの取付け

① **首振り台の合マーク（黒線）の位置に、ダクト用エルボの切欠きを合わせて差込みます。**

② **ダクト用エルボを差込んだ後、軽く左右に回して、切欠き位置と合マークをずらし、エルボが抜けないようにしてください。**

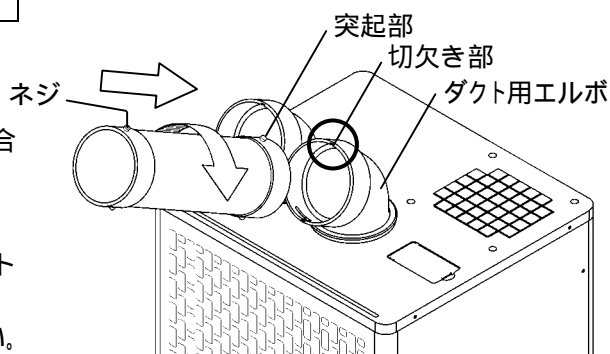
ダクト用エルボ切欠き
首振り台合マーク（黒線）
差込む

注記 **ダクト用エルボが首振り台に対して均一に装着されているか確認してください。浮き上がっている部分があれば、差込み直してください。**

（2）冷風ダクトの取付け

① **ダクト用エルボの切欠き部に、冷風ダクトの突起部を合わせて差込み、右側に止まるまで回します。**
※ネジ側は切欠き部には入りません。

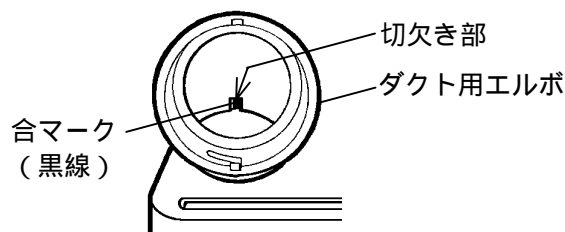
② **ダクト用エルボを押して、送風したい向きに冷風ダクトを向けてください。**

＊送風範囲は、10ページ「風向き調節」の項をご参照ください。

ネジ
突起部
切欠き部
ダクト用エルボ

（3）ダクト用エルボを取外すとき

① **冷風ダクトを取外します。**

② **ダクト用エルボを左右に回して、ダクト用エルボの切欠き部から首振り台の合マーク（黒線）が見える位置を探し、黒線の位置に切欠きを合わせます。**

③ **ダクト用エルボを上に引抜きます。**

延長冷風ダクト（別売品）

延長冷風ダクト（内径φ１２５mm×長さ５m）を用意しています。
作業場所の近くに本機を設置できないときなどにご利用ください。

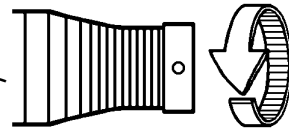
≪延長冷風ダクトの切断≫

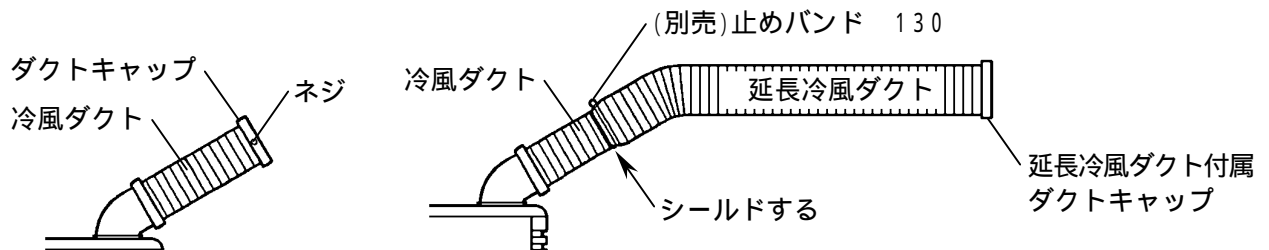
延長する長さに合わせて、延長冷風ダクトを切断してご使用ください。

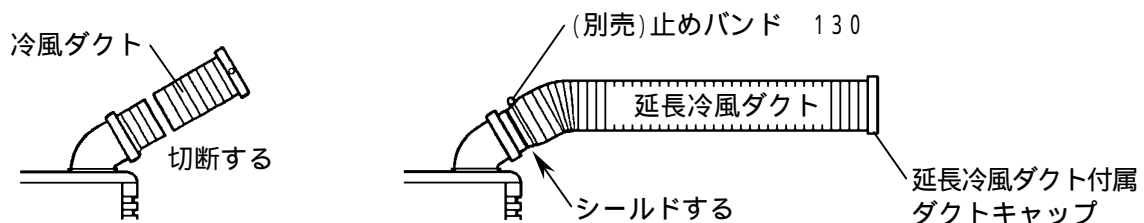
① 切ろうとするダクト部分をマイナスドライバーのように先端が鋭利なものでこじります。

② ダクトの溝を外し、はさみかニッパーで切断します。

≪口径を変化させる≫

ダクトを左にねじると口径が小さくなり、
風速をアップすることができます。

≪冷風ダクトに延長冷風ダクトを接続する≫

① ダクトキャップのネジをゆるめて、冷風ダクトのダクトキャップを取外してください。
② 延長冷風ダクトを、冷風ダクトにかぶせて先端を絞り、シールドして、止めバンドで止めてください。
③ 延長冷風ダクトに付属のダクトキャップを接着剤などで固定します。

≪冷風ダクトを切断して延長ダクトを接続する≫

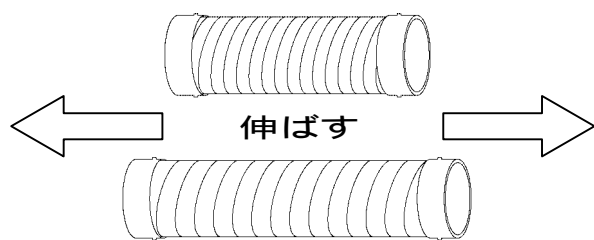
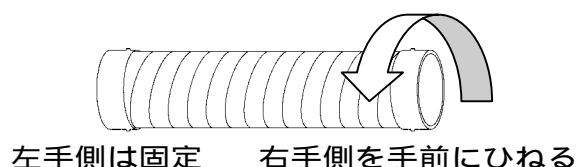
① 冷風ダクトを切断します。
② 冷風ダクトに延長冷風ダクトをかぶせて先端を絞り、シールドして、止めバンドで止めてください。
③ 延長冷風ダクトに付属のダクトキャップを接着剤などで固定します。

≪延長冷風ダクトを固定する≫

延長冷風ダクトは、ワイヤーなどで天井から吊るすか、壁面にしっかりと固定してください。

注記	延長冷風ダクトをご使用の場合は、ダクトを首振りさせないでください。 ＊首振り装置の故障の原因になります。

●冷風ダクトの柔軟性に関するお知らせ

冷風ダクトがやわらかく、冷風吹出し口が垂れ下がる場合は、下記の方法で、冷風ダクトの腰を強くしてください。

① 冷風ダクトの両端を左右に引っ張り、伸ばしてください。

② 両端のダクトキャップを両手でつかみ、冷風ダクトをひねります。
左手側を固定し、右手側を手前に１～２周ひねると、冷風ダクトの腰が強くなります。

左手側は固定　　右手側を手前にひねる

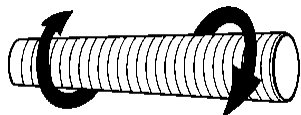
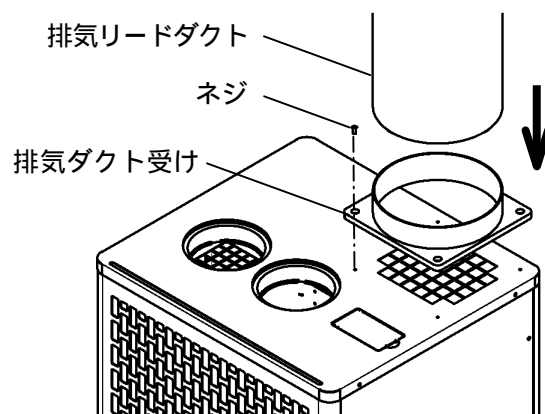
3. 排気リードダクトの取付け

注記	①排気リードダクトの中にものを落としたり､棒などを入れないでください｡内部部品を傷めたり、故障の原因になります。 ②排気口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。

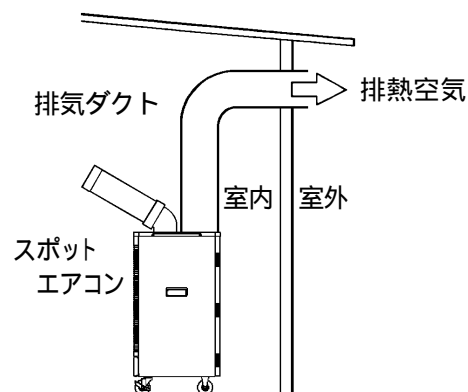
（1）排気ダクト受けの取付け

排気ダクト受けを､本体に付属のネジ４本で止めてください。

（2）排気リードダクトの取付け

① 排気リードダクトの径を、排気ダクト受けに差込めるように調整してください。
排気リードダクトは、フレキシブルなポリプロピレン製のダクトです｡手で円周方向に左右逆回転にひねると、口径が±３０％まで変化します。

② 排気ダクト受けに、排気リードダクトを差込んでください。

排気ダクト （別売品）

別売の排気ダクト（口径φ２２５mm×長さ４m）を排気口に接続すると、室外に排熱空気を排出できます。
標準付属品の排気リードダクトを取外して、排気ダクトを取付けてください。

注記	①壁などに穴を開けて排気ダクトを設置する場合は、工事業者などにご依頼ください。 素人工事は、雨漏りなどのトラブルの原因になります。 ②排気ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。 内部部品を傷めたり、故障の原因になります。 ③排気口を塞がないでください。 機能を妨げ、故障の原因になります。 ④周囲温度４０℃以上の場所では、標準付属品の排気リードダクトを使用してください。

4. 本体と電源の接続

（1）電気配線

電源は、専用回線（専用電源）からお取りください。

（2）アース工事

静電防止および感電事故防止のため、必ずＤ種接地工事を行ってください。
工事を行うには、資格が必要ですからご注意ください。

(3)漏電ブレーカー

漏電ブレーカーは、２０Ａ．３０mＡ．0.１ｓｅｃ以下のものを使用してください。

労働安全衛生規則第３３３条により、漏電ブレーカーの取付けが義務づけられています。

(4)使用電源電線

電線の長さ	公称断面積
１２m以内	2.0mm^2
２０m以内	3.5mm^2
３０m以内	5.5mm^2
ア ー ス 線	2.0mm^{2}以上

(5)本体と電源の接続

① サービスカバーを止めている３か所のネジをプラスドライバーで外し、サービスカバーを取外してください。

② サービスカバーの裏に貼ってある配線図に従って接続してください。

1) 結線の前に、サービスカバーの外側から、電源コードを配線穴のグロメットに通してください。

2) 接触不良防止のため、電源コードの先端にメガネ端子などを使用してください。

3) 端子台に、電源を配線接続してください。

③ 必ずアースをアース端子（ネジ）より取ってください。

④ サービスカバーを元の位置に取付けてください。

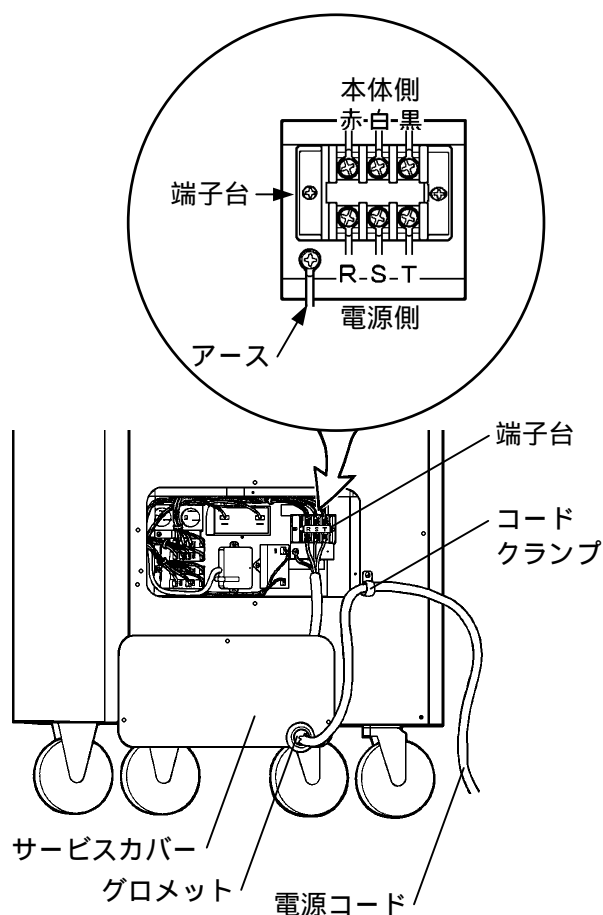
⑤ 振動や引っ張りによる接続不良を防止するため、電源コードは必ずサービスカバー横のコードクランプで固定してください。

1) コードクランプは、径φ１０.６までの電源コードに対応しています。

2) 径φ１０.６より太い電源コードをご使用のときは、本機に装備しているコードクランプでは電源コードを固定できません。

3) コード径に合った市販のコードクランプを用意していただき、電源コードを固定していただきますようお願いいたします。

⑥ 接続不良による焼損事故防止のため、ロック式のコンセントプラグのご使用をお勧めします。

⑦ 電源プラグをコンセントに差込みます。

注記
①電気工事は、有資格者もしくは認定を受けた電気工事店でなければ施工できません。
②電源は、スポットエアコン専用の電源につないでください。
③電源電線および延長コードは、必ず指定の長さ・公称断面積のものを使用してください。
＊電気容量の不足や電線の容量不足（電圧低下）は、本体トラブルの原因になります。

5．試運転

運転切替スイッチ、風量調節スイッチ、首振りスイッチを操作し、機能が異常なく作動するかご確認ください。

① 各スイッチの操作方法は、次項「ご使用方法」の各項目をご参照ください。

② 異常がある（作動しない）場合は、14ページ「こんなときは」の各項目をご参照ください。

注記	**①「冷風」運転から「停止」または「送風」運転に切替えて、再び「冷風」運転にするときは、３分以上お待ちください。保護装置が働き、運転しないときがあります。** **②逆相防止リレーを内蔵しています。運転切替スイッチを入れても作動しないときは、端子台に接続している電源コード３本線のうち２本を入れ替えて配線し、もう一度スイッチを入れて作動状況を見てください。（11ページ「逆相防止リレー」の項参照）**

5 ご使用方法

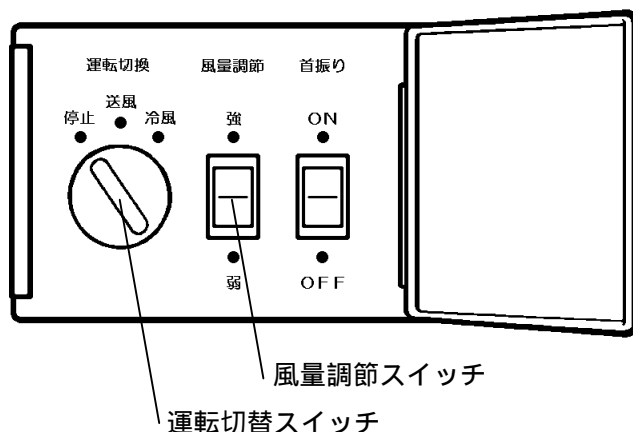
安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1．運転と風量調節

注記	**「冷風」運転から「停止」または「送風」運転に切替えて、再び「冷風」運転にするときは、３分以上お待ちください。** **＊保護装置が働き、運転しないときがあります。**

（1）運転切替スイッチの操作

① 本体天面の操作部フタを開けてください。

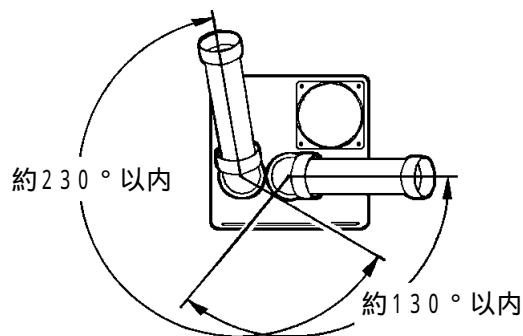
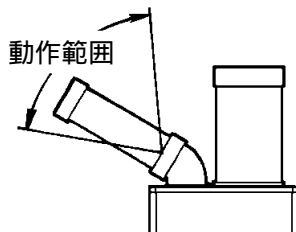
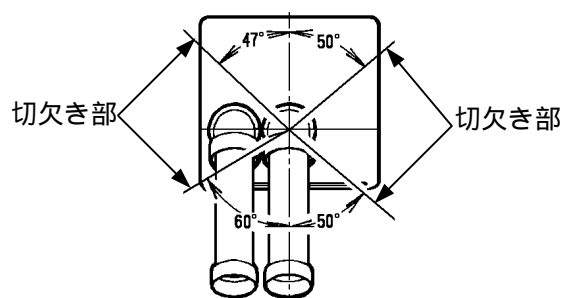
② 操作部の運転切替スイッチを操作してください。
「送風」……ハネが回り、送風します。（冷風運転ではありません）
「冷風」……コンプレッサーが作動し、冷風運転を行います。

※送風運転が必要なとき ――――
熱交換器が凍結や結露して冷風温度が鈍くなったときは、解凍・乾燥のために送風運転をしてください。

（2）風量調節スイッチの操作

操作部の風量調節スイッチで「強」または「弱」を選んでください。

2．風向き調節

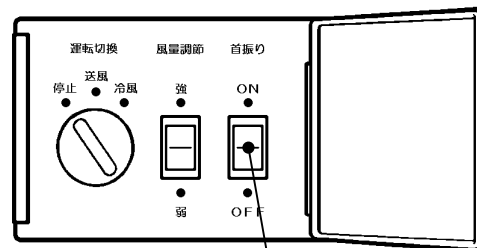
冷風ダクトは動かせますので、調節してご使用ください。

≪水平方向≫右図の範囲で回転します。

≪上下方向≫ダクトはフレキシブル性を持っていますので、動作範囲内でお好みの方向に調節してください。

注記
①冷風ダクトを曲げるときは、エルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。
＊無理をすると部分破損の原因になります。
②冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
＊内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
③ダクト用エルボの突起部と本体の切欠き部が合う場所は、ダクト用エルボが外れますので、外れない範囲内でご使用ください。

3．首振り装置

（1）首振りの開始と停止

操作部の首振りスイッチを操作してください。

「ＯＮ」……　冷風ダクト２個共、同時に首振りを開始します。

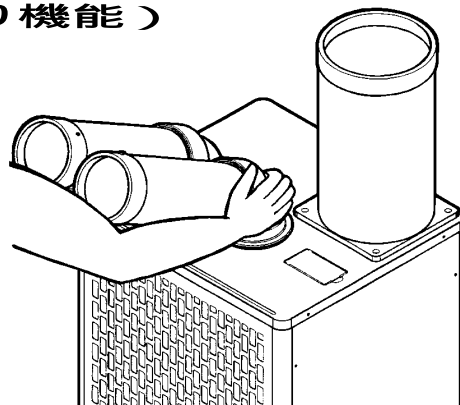
「ＯＦＦ」……　冷風ダクトは動きません。

注記
①首振り運転にしたとき、冷風ダクトに障害物が当たらないようにご注意ください。
②標準装備の冷風ダクト以外を使用されるときは、首振り装置を作動させないでください。
＊延長冷風ダクトを装着して首振り作動をすると、首振り装置に無理な力がかかり、故障の原因になります。

（2）首振り位置の変更（二重首振り機能）

首振りの支点位置はお好みの方向に変えられます。

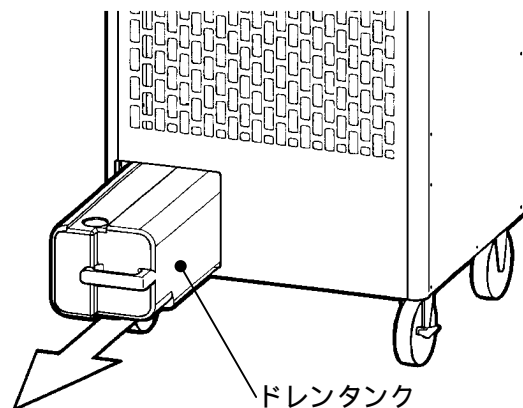
① まず、首振りスイッチを「ＯＦＦ」にしてください。

② 冷風ダクトを軽く押してお好みの位置にセットしてください。

注記
①排気リードダクトを装着している場合は、その方向には首振りできません。
②ダクト用エルボの突起部と、本体の切欠き部が合う位置は、ダクト用エルボが外れますので、外れない範囲内でご使用ください。

4．ドレンタンク

（1）除湿した水はドレンタンクに溜まります。

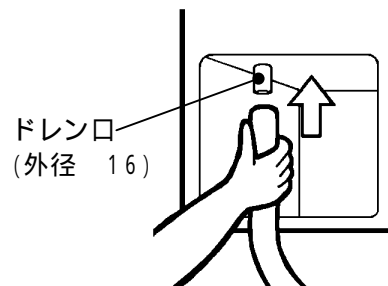
本機は、熱交換器上部の蒸発側で除湿した水を、下部凝縮側で一部蒸発しています。
当社従来品に比べて除湿水を少量に抑えたため、ドレンタンクが小型になりました。

注記	①除湿水量は、外気温、湿度などや熱交換器の汚れなどで大きく変わります。 特に梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので、ご注意ください。 ②除湿水の量は、ドレンタンクで確認してください。 ③除湿水は、満水になると床に漏れ出しますので、ドレンタンク内の水量に充分ご注意の上、早めに除湿水を捨ててください。 ④スポットエアコンを移動するときは、除湿水が本体内に漏れますので、除湿水を捨ててから移動してください。

（2）除湿水をホースで排水するとき

ドレン口にホースを差込むと、排水溝に直接排水することができます。
ホースは、内径φ１６mmのものをご用意ください。

① **ドレンタンクを取出します。**

② **正面より見てドレンタンク受けの天井左部分にドレン口がありますので、ホースを差込み、ホースバンドなどで固定してください。**

③ **②で接続したホースを排水溝などに入れてください。**

6 保護装置

（1）コンプレッサー用オーバーロードリレー

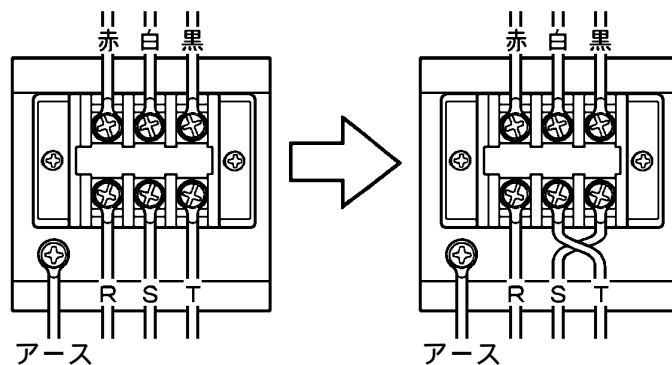
① **電圧の低下などによる過電流や、モータの異常過熱からコンプレッサーを保護します。**

② **オーバーロードリレーは自動復帰型です。頻繁にオーバーロードリレーが作動する（運転が停止する）場合は、原因を取除いてください。故障の原因になります。**

（2）逆相防止リレー

① **誤配線によるコンプレッサートラブルを防止します。**

② **新規配線や電源の位置を変えたときに誤配線があると、逆相防止リレーにより、スイッチを入れても本機が作動しない構造になっています。**

③ **スイッチを入れても本機が作動しないときは、端子台に接続している電源コード３本のうちの２本を入れ替えて配線し直してみてください。**

（３）凍結防止サーモ

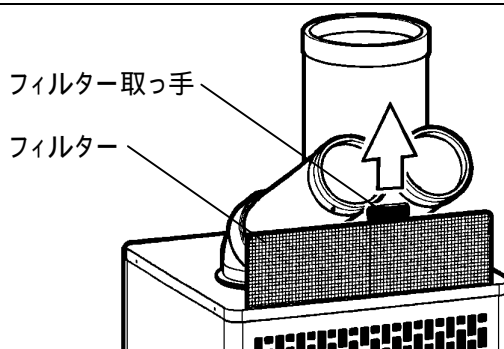
① 低温時の熱交換器凍結防止のため、コンプレッサーを停止し、送風運転に切替わります。

② 霜取りが終われば、自動的に冷風運転に戻ります。

7 お手入れと保管

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

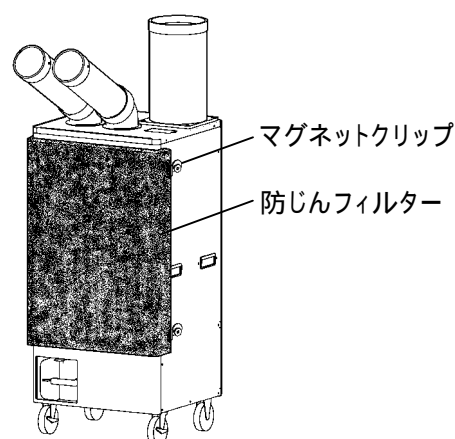
1．フィルターのお掃除

① フィルターを上に引き上げて外してください。
② フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。
③ 汚れがひどいときは、水洗いをしてください。
④ フィルターは、完全に乾かしてから取付けてください。

防じんフィルター（別売品）

●綿、繊維、グラス繊維などの粉じんが多い場所でご使用の方へ

頻繁に熱交換器が目詰まりを起こして冷風運転ができなくなる場合は、別売の「防じんフィルター」をフィルターカバーにかぶせて、粉じんがフィルターを通過する前に捕集してください。

防じんフィルターは、マグネットクリップ（４個）で固定します。

※防じんフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなります。防じんフィルターは、本機から外してこまめに洗浄してください。

オイルミストフィルター（別売品）

●オイルミストが多い場所でご使用の方へ

標準付属品のフィルターを「オイルミストフィルター」に差替えてご使用されることをお勧めします。「オイルミストフィルター」を装着することにより、熱交換器の油汚れによる冷房能力の低下やドレン水の飛散を防止できます。

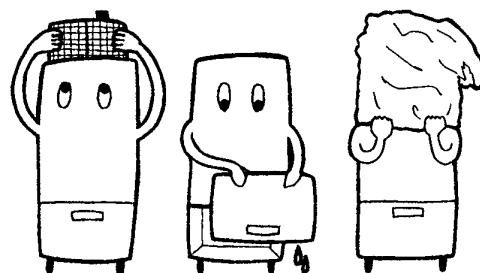
※オイルミストフィルターが目詰まりすると、正常な冷風運転ができなくなります。オイルミストフィルターは、本機から外してこまめに洗浄してください。

2．外装のお手入れ

ダクトや外装の汚れは、乾いた布で拭くか、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いてください。

注記	シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、塗装面を傷めたり、故障の原因になりますのでご注意ください。

3. シーズンが終わったら

① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
② ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてください。
③ １時間程、送風運転を行い、本体内部を乾燥させてください。
④ ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
⑤ 部品をなくさないように、保管してください。
⑥ 電源コードや延長コードも汚れを落とし、保管してください。

＊熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、お買い上げの販売店またはスイデン・サービスショップ、最寄りのスイデン支店・営業所にご相談ください。
シーズンオフに内部清掃と点検を行うと、来シーズンすぐにご使用いただけます。（清掃・点検は有料です）

注記 本機を横倒しで保管しないでください。
＊再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。

点検項目	処置
電源（延長）コードは、傷んだり変形していませんか？	新しい電源（延長）コードに交換してください。
差込みプラグは、変形やガタがありませんか？	新しいプラグに交換してください。
電源コードと電源部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源（延長）コードと差込みプラグは、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
ダクトは変形したり、破れていませんか？	新しいダクトに交換してください。
フィルターに、ホコリやゴミが詰まっていませんか？	フィルターを掃除してください。
フィルターは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルターは、破れていませんか？	新しいフィルターに交換してください。
熱交換器のフィンは、つぶれていませんか？	お買い上げの販売店または、スイデン支店・営業所に点検・修理をご依頼ください。
熱交換器のフィンに、ホコリや油汚れが付着していませんか？	
フィルターや冷風ダクトを障害物でふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。
ドレンタンクは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ドレンタンクは、破損していませんか？	新しいドレンタンクに交換してください。
キャスターは、磨耗していませんか？	新しいキャスターに交換してください。
キャスターのストッパーは、正常に働きますか？	
各スイッチは、正しく機能しますか？	14ページ「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、お買い上げの販売店または、スイデン支店・営業所に点検・修理をご依頼ください。
異音・異臭はありませんか？	お買い上げの販売店または、スイデン支店・営業所に点検・修理をご依頼ください。

9　こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

症　状	調べるところ	直し方
運転しない	電源が供給されていますか？(停電など)	通電されるまで運転スイッチを「停止」の位置にして待ってください。 「冷風」の位置のまま通電すると、ヒューズやブレーカーが切れるときがあります。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源コード断線していませんか？	断線を直してください。
	電源用ヒューズが切れていたり、ブレーカーが落ちていませんか？	電気の専門家がおられない場合は、お買い上げ販売店へご相談ください。
	オーバーロードリレーが作動していませんか？	自動復帰型です。 復帰するのを待ち、運転スイッチを「停止」に戻して、３分以上時間をおいてから再運転してください。
	逆相防止リレーが作動していませんか？	電源の３本線のうち２本を入替えて結線し直してください。（11ページ参照）
ヒューズまたはブレーカーが切れる	ブレーカーの容量は充分にありますか？	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
	３分間停止を守りましたか？	スポットエアコンを「停止」して、再び運転を開始する場合は、３分間以上の時間をおいてから「冷風」運転してください。
	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
運転・停止を繰り返す(オーバーロードリレー作動)	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
	電源（延長）コードの容量不足ではありませんか？	適正な電源（延長）コードに交換してください。（8ページ「使用電源電線」の項参照）
冷えない	運転スイッチが「送風」になっていませんか？	「冷風」にしてください。
	フィルターや、冷風ダクトがふさがれていませんか？	障害物を取除いてください。
	フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
冷えがにぶい	周囲温度が高すぎませんか？ （４５℃を超える温度）	風通しを良くするなど、連続運転可能範囲内でご使用ください。 連続運転可能範囲は、25℃～45℃です。
首振りしない	首振りスイッチを「ＯＦＦ」にしていませんか？	「ＯＮ」にしてください。
機外へ水が漏れる	ドレン管が詰まっていませんか？	ドレン管を掃除してください。
	ドレンタンクが満水になっていませんか？	ドレンタンク内の水を捨ててください。
	ドレンタンクを正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
	ドレンタンクが破損していませんか？	補修するか、新品に交換してください。

■上記処置をしても直らない場合は、お買い上げの販売店またはスイデン・サービスショップ、最寄りのスイデン支店・営業所へご相談ください。

10 アフターサービスと保証について

⚠ 注　意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後９年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。　お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店、または当社支店・営業所へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	
所在地	
ＴＥＬ	
ＦＡＸ	
お買い上げ年月日	年　月　日

株式会社スイデン
奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘 3-26
ホームページ　http://www.suiden.com

スイデン商品についてのお問い合わせは、
最寄りのスイデン支店・営業所へどうぞ！

東京支店	☎(03) 3625-9003
大阪支店	☎(06) 6772-2241
名古屋支店	☎(052) 322-4651
福岡支店	☎(092) 471-6201
仙台営業所	☎(022) 255-9593
北関東営業所	☎(0277) 76-1805
静岡営業所	☎(054) 237-5172
富山営業所	☎(076) 441-2707
奈良営業所	☎(0745) 73-7411
広島営業所	☎(082) 292-6311
高松営業所	☎(087) 843-4896